

前ページから

## 回答

◆道の駅は、49号線沿いに一つ設けたいと考えている。検討委員会を設け方向性を定めるべく調査中である。道の駅のトイレと駐車場は国が造るもので、村は振興施設を併せて造る考えである。18年度にまとめるのでまだ決定していない。今出ダムは大幅に変更になった。須賀川市の水量が減ってその分各町村の負担が増えることはだめということで検討し、村の参画水量は当初計画の半分の800トンに決まった。乙空釜の浄水場が限界になったとき今出ダムの水を持ってくる考えである。開始はまだ先。

◆ゴミの環境も難しくなっている。石川町のきららセンターは管内5町村で負担している。火葬場も2基ある炉の1つが壊れて使えない状態である。石川町では火葬場建設に伴い葬祭場も予定しているが、石川町を除く4町村では炉の建設のみしか予算は見えない。繰出金が多いが、石川地方生活環境施設組合などの広域的に行

くお金が多い。今までやってきたつけが多くなった。区長のいうとおり節約できるものは節約する。自律計画、財政計画はそのためのものである。

◆北方地区については27%と低い状況にあり会計検査員からの指摘もある。北方地区には加入促進をお願いしたい。合併処理浄化槽については補助率が年々下がっている。

◆接続農業集落排水の加入率は蓬田は70%、小平は30%を超えたところ。80%に持っていけないと無駄づかいになるので、接続率を上げるため積極的に取り組んでいる。永田地区は公共施設が集中しているので水をきれいにするため、18年度から工事着工する。



## ●かたらい・ちゃくじつ(住民との協同分野)

### 開かれた協働のむらづくり推進

## 質問

◇職員減少により住民のサービス低下にならないか。◇超過勤務手当が削減は法律違反ではないか。◇職員の資質の向上、能力・労働力の向上を望む。◇職員の採用方法に問題はないか。◇役場職員は村に住んで欲しい。◇職員を減らす根拠は何か。◇10年より早く実施できないか。◇計画実行のための職員の負担が増えるのではないか。◇人件費削減についての村の考えは。◇特別職の報酬は適正でないのか。◇収入役と助役を1人にできないか。◇助役と収入役を廃止できないか。◇議員、農業委員の定数削減は少数者の意見で決定されてしまう恐れがある。◇定数削減ではなく報酬削減を願う。◇議員定数は何人が適正か。◇議員数を減らして住民の声が届かなくなるので住民の声の届く形を望む。◇区の統合は無理ではないか。◇区の見直しは村が主導でやるべきだ。◇班の統合は難しい。◇町村合併は他の町村から合併の申し出はないか。◇管内の取り組み状況はどうか。◇合併しないと交付税は減るのか。◇合併しないで独自でやるということか。◇人口5千人になってから合併を考えては遅い。話し合いの場を持っているか。◇合併しない理由は何か。◇広域的な町村合併が必要ではないか。◇合併しない場合の歳入は計画通り入るか。◇合併と自律計画の経緯は。また最終的な村の考えを聞く。◇7千人規模の村の自律は困難。◇道州制を踏まえた合併を選択すべき。◇配置の内容と時間外の対応を望む。◇地区割担当職員はどういうものか。◇総合計画、自律計画の住民周知を願う。◇住民

主体の村づくりの必要性を周知すべき。◇自律計画の10年間で5年程度にすべき。◇何でも削減ではなく残さなければならないものもあるのではないか。◇計画の1年ごとのチェックとフォローを計画的に実施して欲しい。◇絵に描いた餅にならないように計画を実行して欲しい。◇協働の村づくりのための目玉が必要ではないか。◇自律計画実施は村民の協力が必要。◇参加しない人へのPRを願う。◇ホームページ作成は自分でできないか。◇公共施設の委託管理できるところは早急の実施すべき。◇民間委託できるものはないか。



## 回答(議員・特別職)

◆特別職は報酬10%カット、議員も5%カット、職員も管理職手当の削減、旅費の削減、特殊勤務手当は廃止と更に削減している。残業手当の10時間以上は代休制にして、サービス残業もあ

次ページへ

## ●すくすく・いきいき(教育・文化分野)

### 幼児・学校教育の充実

## 質問

◇平田分校存続関係◇教育をどう考えるか。◇統廃合によるスクールバスの検討と対象は村内全域にして欲しい。◇統廃合により建物を新たに建てるのか。◇統廃合後の空施設の利用は企業誘致に利用できないか。◇統廃合はいつか。◇スクールバス運行の範囲は。◇統廃合は小規模で目の届く教育が必要ではないか。◇統廃合ではなく村独自の施策として打ち立てられないか。◇小規模がいいのではない。◇統廃合は実施すべき。◇教育費の削減はしないで欲しい。◇統廃合は早めを実施して欲しい。◇統廃合による送迎方法は。◇西山小と小平小が統合すれば行事のとき楽になる。◇スクールバスの導入により若い人が働きやすく子育てしやすい環境の整備を望む。◇安全のため通学手段の検討が必要。◇子育て支援の内容は。◇保育所の開始時間は。◇保育時間を長くできないか。◇幼児教育センターに移行しても1歳児は預かるのか。◇子育て支援の内容は。◇子どもを減らさないための施策は。◇子育て支援対策で子どもの数の増は考えられないか。

## 回答

◆小野高校平田分校については定員40名中1/2を下回るのが3年間続いた場合廃校となるが、平成18年度については定員の半数以上となる見込みである。しかし、村としても平田分校の存続について、県に要望していきいたいと考える。なお、今後も村民、あるいは保護者の意識改革も必要と考える。

◆西山の幼稚園、小学校の統廃合で各地域に入って話し合いを進めている中で、幼稚園は仕方ないだろうということであったが、西山小学校は小平小学校に連れて行く燃料費を考えて欲しいという意見が出た。幼児教育センターは平成20年を目標に進める。永田に集中させるとなると村全体で進めていかなければならない。地域の



納得を得るのは大変である。西山は来年21人、永田も同じ人数、一時期永田は増えたが減ってきた。幼稚園は統合に踏み切っていると実感した。スクールバスを打ち出せば納得できるのかと考える。

◆福島交通(株)には約1千万円、JR(株)には約百万円の助成をしている。福島交通は廃止を希望しているが、村の要請により運行している状況である。

◆結婚相談員は11名いる。相談業務を行っているが、個人保護法の関係で独身者の調査ができなく把握できないため結婚相談員の動きが取れない状況になっている。子育て支援としては、特別敬老祝い、赤ちゃん誕生祝いの見直しを行い、赤ちゃん誕生祝い金制度を充実させる。現在第3子誕生から20万円を支給しているが、第1子から支給する考えである。また、保育所2人目無料も実施している。

◆中学校も団体スポーツは廃部になっている状況がある。子どもの教育を考えると適正な数が必要と考えるのでそこまで考えて統廃合を検討する。

## ●あんぜん・かいてき(生活環境分野)

### 美しい環境の創造

## 質問

◇農業集落排水の加入率を上げて欲しい。◇集落排水事業と小規模施設との比較検討をして欲しい。◇農業集落排水事業の徴収率は100%にすべき。◇永田に集落排水施設は必要か。◇合併処理浄化槽の補助金額を上げて欲しい。◇道の駅と今出ダムの現在の状況は。◇規模の大きい事業は広域的に取り組み経費削減すべきではないか。◇平田IC周辺整備は横森か、臭いを議論されるには憤慨した。◇道の駅の検討が必要。◇幹線道路の改良を願う。◇道路拡幅工事を願う。◇路線バス運行に村の補助金はだしているか。



次ページへ